



学校だより 西北歳時記

長崎市立西北小学校 校長 立本 祐輔

NO. 3 令和3年7月5日 発行



1学期も「まとめ」の時期に入ります。

梅雨の合間に見られる日差しに、夏の訪れを感じる季節になりました。いよいよ、1学期も「まとめ」の時期に入ります。長崎市内の新型コロナウイルス感染者数も、ゼロから1ケタ台の日が続き、少し落ち着いたように感じます。引き続き感染予防を徹底しながら、学習活動を行っていきたいと思います。

【研究授業】

西北小学校では、校内研究で「算数科」に取り組んでいます。研究主題を「『楽しい』・『面白い』算数科授業とは」として、子どもたちが主体的に課題に取り組むことができる授業を目指しています。



先日、1年1組で公開授業が行われました。「どちらがながい」という単元で、長さ比べをしながら「直接比較」「間接比較」から任意単位に気付いていく活動につなげていきます。子どもたちは「どっちがながい？」ゲームをしながら、長さ比べに真剣に取り組んでいました。



明日は、6年2組が「割合の表し方を調べよう」という単元で、グループクロムブックを活用した授業を行います。

【被爆体験講話】

6月29日に、4年生以上を対象に被爆体験講話を行いました。

今年、被爆者の方から体験を聞き、それを語る交流証言者の方からお話を伺いました。^{やまのゆうみ}山野湧水さんという方で、高校時代から平和ボランティアとして活動し、現在は交流証言者として、各学校を回られています。小学1年のときに、旧長崎大学病院で被爆した池田道明さんから話を聞き、それを語っていただきました。



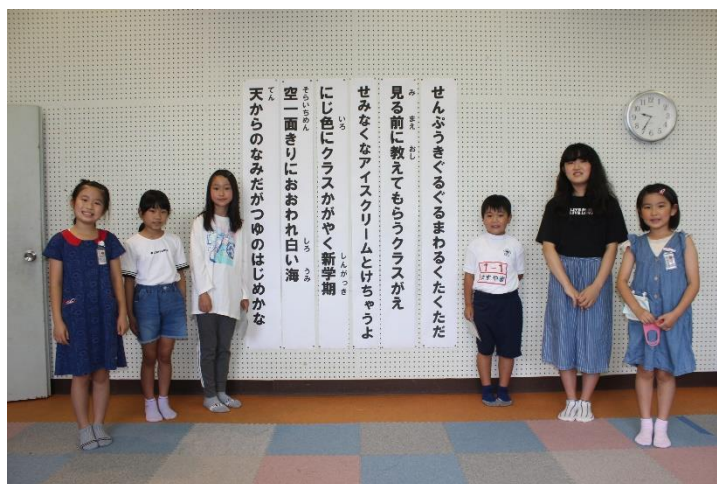
子どもたちは、真剣なまなざしで最後までしっかりと聞いていました。感想を紹介します。「池田さんが大切にしている『戦争は人の心を変えてしまう。』という言葉が心に残りました。戦争が人の心を変えてしまうなんて……。あらためて「戦争はいろんなものを奪っていったんだな。」「してはいけない。」と、思うことができました。



【第1回全校句会】

先週、今年最初の全校句会をオンラインで開催しました。各学年から選ばれた6句がそろいました。子どもらしい、素直な気持ちあふれる作品でした。

優秀賞	優秀賞	西北俳句大賞	優秀賞	先生特別賞	優秀賞
せみなくなアイスクリームとけちやうよ 一年 増山 奏 <small>ますやま かなで</small>	せんぶうきぐるぐるまわるくたくただ 二年 勝本 桜亜良 <small>かつもと さあら</small>	天からのなみだがつゆのはじめかな 三年 生田 虹心 <small>いくた にこ</small>	空一面きりにおおれ白い海 四年 小川 椀乃 <small>おがわ かの</small>	にじ色にクラスかがやく新学期 五年 豊永 知世 <small>とよなが ちせ</small>	見る前に教えてもらおうクラスがえ 六年 松尾 瞳空 <small>まつお みく</small>



ベルマーク集め 全国20位 !!

西北小学校のベルマーク集めは、本当にすごいんですね。



2020年度、長崎県の参加団体530校の中で最も多くベルマークの点数を集めたのは、長崎市立西北小。20万点台は県で唯一、全国でも20位にランクインしました。西北小では児童一人ひとりにベルマーク袋を配り、学期ごとに年3回提出してもらおうとします。また、校区内のスーパーやマンション6カ所にも箱を設置。3カ月に一度の回収ではどっさり集まっていて、地域の協力も大きいといいます。【長崎新聞記事より】